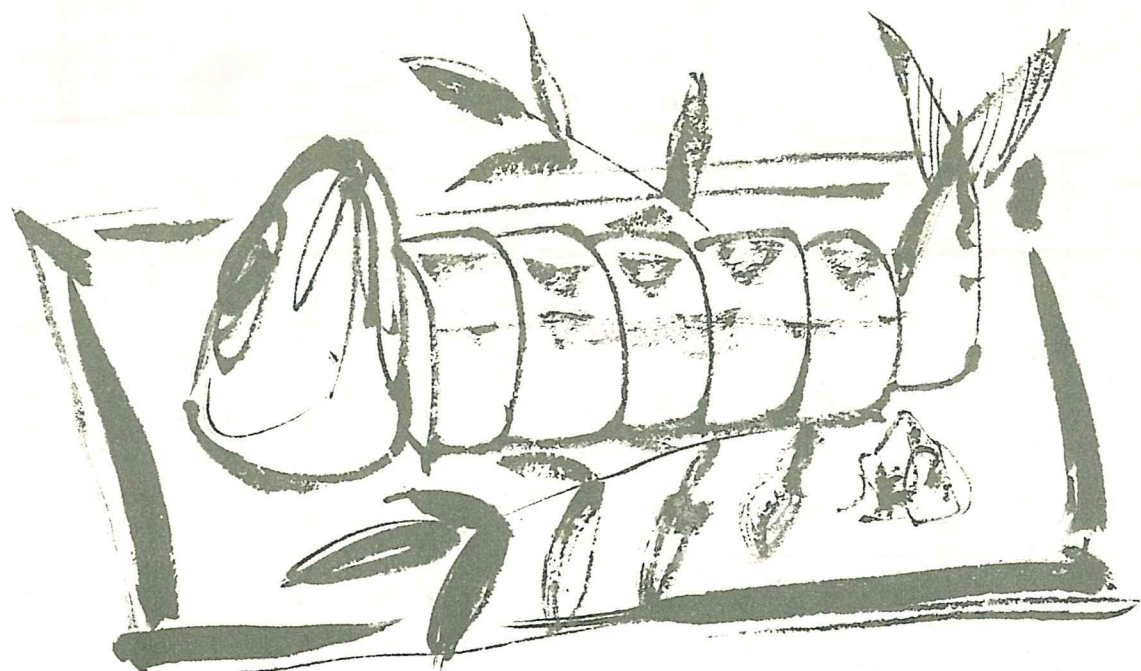


筆山

第3号/1986・12

土佐中・高同窓会 関東支部会報

〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社気付 ☎03-816-7011 編集人／小松勢津子(35回)



▲カット／田中 彰 (43回)

支部だより

●六一年後半支部活動報告

▽七月二十七日母校同窓会総会（高知・三翠園）Ⅱ宮地貫一氏（21回）講演。浅井伴泰幹事長（30回）、吉沢信一氏（16回）出席。

▽八月十八日、九月十二日「筆山」編集会議。

▽九月二十二日学年幹事会。新年総会の打合せ、会計報告、会費納入状況報告（京橋会館・43名）。

▽九月二十三日土佐高懇談会Ⅱ志願者調査対策委員長籠尾先生を囲んで（京橋会館・14名）。

●会費納入状況

支部会則に基づき今年から二千円の年間会費を頂くことになりましたが、これまでの納入者は合計六〇六名になりました。（十一月二十日現在）未納の方は郵便振替で
東京7-142816
「土佐中・高同窓会関東支部事務局」まで振り込んで下さい。

SEIKO

北新地の小さなスナックです
御来阪の折には一寸お立ち寄り下さいませ

山下 成子 (32回)

大阪市北区曾根崎新地1-2-12 タチバナビル
TEL (06) 341-8220

日本水産株式会社

食卓は、
家族の
広場です。



シーフードNOW ニッスイ

居酒屋

いごっそう

港区六本木4-12-7
八森ビル4F
☎03 (405) 0152-0159

いごっそう

東京都台東区上野6-7-12
上野さくら通り広瀬ビル(B1)
☎03 (837) 1641

いごっそう本店 高知市追手筋1-10-19
0888-22-1213

＜土佐高出身のみなさまへ！＞

ますますお元気で各方面に御活躍の由
とても嬉しく存じて居ります
銀座のシックでおおらかなお店ですので
お気軽に御利用下さいませ
若くてキレイな子がそろっています……

くらぶ はつとり

銀座8丁目角ゴルフビルB1 571-5333・572-2586

都会の中の小さな土佐

土佐料理 土佐芳

〒104 東京都中央区銀座7-6-8(西五番街) ☎572-9640

- 赤坂店(赤坂みすじ通り) ☎585-9640
- 新宿店(新宿住友三角ビル) ☎344-6585
- 渋谷店(シオノギ渋谷ビル) ☎407-9640
- 麹町店(新宿野村ビル) ☎348-2727
- 加寿翁(新宿住友三角ビル) ☎345-0881



酒井 芳美

新しいお店にどうぞ
御待ちして居ります (28回生)

東京都中央区銀座8-7-19(すずり)ゆうビル4F
電話 (03) 574-7658 571-9035 西五番街

季節のふるさとの味

土佐酒蔵

東京都中央区銀座7-12-4 サンリード地階
電話 (03) 545-3855 銀座第一ホテル通り

(部 名)		(人数)	(活 動 状 況)
【運動部】			
1	空 手	19	男不振。唯一人女子部員が国体出場、大活躍。
2	弓 道	45	中学生が多数入部。将来が楽しみ。
3	剣 道	23	四国大会出場。
4	自 転 車	8	四国大会出場。夏休みにロードワーク合宿。
5	サ ッ カ	78	県内ベスト8。
6	柔 道	35	県内ベスト8。
7	水 泳	19	四国、全国大会出場。
8	学 ソ フ ト	22	毎日熱心に練習はしているが……。
9	高 校 ソ フ	19	〃
10	卓 球	38	県内ベスト8。
11	軟 庭	34	四国大会出場。
12	硬 庭	48	男＝四国、全国大会出場。女＝四国大会出場。
13	登 山	9	四国大会出場(16校中6位)。
14	男 子 バ ス ケ	33	夏期大会準優勝。
15	女 子 バ ス ケ	33	振るわず。
16	バ ド ミ ン ト	42	男＝四国、全国大会出場。女＝四国大会出場。
17	男 子 バ レ ー	33	} 共に頑張っているが……。
18	女 子 バ レ ー	22	
19	ハ ン ド ボ ー ル	31	四国、全国大会に出場。
20	中 学 野 球	51	中学市体3位。
21	高 校 野 球	10	秋季大会で健闘、ベスト8へ進出。
22	陸 上	42	中学男県体総合優勝。高校男女県体総合3位。
【文化部】			
23	映 画	17	中3が主体。8mm映画製作を準備中。
24	英 語 研 究	7	英語検定に向けて学習中。
25	演 劇	9	毎年演劇コンクール参加。昨年四国大会出場。
26	音 楽	15	県内の音楽祭に積極的に参加。
27	ギ タ ー	9	主として校内発表会を定期的に行っている。
28	棋 道	27	碁・将棋とも毎年全国大会出場。
29	華 道	7	週に1回練習(材料費がバカにならない)。
30	茶 道	21	外部の茶会にも積極的に参加。
31	写 真	13	毎年県展に入選(昨年2人、今年1人)。
32	書 道	17	各種コンクール、向陽祭に向け努力中。
33	新 聞	2	現在活動停止中。
34	ブ ラ ス バ ン ド	43	スプリングコンサートも既に21回を数える。
35	物 理	20	マイクロコンピューターに熱中。
36	文 芸	16	部誌の発行に精力的に取り組んでいる。
37	P. F. C.	9	養老院訪問、父の日・母の日のキャンペーン。
38	美 術	5	現在新たな活動を模索中。
39	放 送	32	運動会、各種行事に活躍。
40	生 物	24	魚の飼育(昨年器具故障で大量のメダカ汁!?)
【同好会】			
1	模 型	10	何か意義ある物を作るべく検討中。
2	漫 画	5	交通安全カレンダーを作成、表彰される。
3	イ ク タ ク ー ラ	13	ロータリークラブの下部組織として奉仕。
4	天 文	9	ハレー慧星には熱中した。
5	な ぎ な た	10	四国大会出場。

註1. 人数は特定の部以外は中・高男女合算した数(4月調査)
2. 同好会は生徒会の予算がつかない、部の一手手前の状態。活躍次第で部に昇格ができる。



INTERVIEW

殿様三菱を变身させた
土佐のやんちゃぼうず

三菱電機名誉会長 進藤 貞和氏(3回)

進藤先輩は、明治四三年の生まれ。旧姓宮地。土佐中、旧制高知高校、九州大学で学び、三菱電機に入社。長崎製作所長を経て、昭和四五年社長に就任。十年間の在任中に、クリーンヒーター、ふとん乾燥器などのヒット商品を開発、殿様といわれた企業体質を見事に变身させ、三菱電機を一兆円企業に大躍進させた。日本電機工業会長、日本電子機械工業会長等を歴任。

——高知工場(香我美町)の完成おめでとうございます。「ありがとう。四国電力の山口恒則会長に、あんた高知だろ、工場を持ってこい」と強くすすめられたからね。マイコン専用の半導体製作工場なので、空港に近くて水や電力が豊富なことが立地条件だが、山口会長との信頼関係で決まったようなものです。

岩崎家発祥の地でありながら、三菱系の工場が一つもなかったことや、中内知事から熱心に口説かれたこともあり

——先輩は、殿様・三菱を变身させたといわれますが。「私はガラが悪く、立ちションペンはするし、大声で歌はうたうし、殿様というガラではなかったからでしょう。ただ社長になったときは家電がドン底で、重電出身の進藤は家電から撤退するというウワサが流れ、記事にまでなった。そこで「何を」と思い、家電の製作所や販売店を片っぱしから回った。販売店主とも酒と歌でトコトンつきあった。宴席で店主が「社長がそこまで言うなら売上を五割増にしろ」といえば、「いや二倍にしてください」と頼み込んだ。やがて消費者志向のヒット商品が続々と生まれ、家電は空前の利益を上げるようになった。これも結局は人であり、技術者も販売店もやる気を出してくれたからです」

——土佐中入学のころは? 「大正九年、土佐中ができたときに、予科一年(小学五年相当)に入り、帯屋町の仮校舎へかよった。予科からの開校第一期生です。三根校長以外で印象に残っているのは、英語の長谷川正夫先生。油絵やマンドリンが上手で、東京から自由と文化を持ち込んでくれた。中学時代には、軟式テニスやハーモニカに熱中し、自己流でバイオリンもやった。音楽は、後輩の平井康三郎君がバツグンにうまかった」

——歌には年季がはいっているわけですね。「バイオリンのおかげで、音程がしっかりしているといわれる。昭和十年ごろ、長崎のカフェで口三味線ならぬ口バイオリンで喝采をあげたり、戦後はオランダで「長崎物語」、ドイツで「野ばら」と歌いまわった。持ち歌は「恋心」「永雨」など百曲あまり。もっぱらギターやアコーディオンの伴奏で歌っていたが、わが社がカラオケを発売してから、それを愛用している。ダ

土佐中一回生の島野広さんの印象では、大変なやんちゃぼうずであったという。「西条工場の塩害防止を担当した研究者が、奥さんの下着までテスト材料にして、塩どころか、微細なゴミ防止にも成功した」といった、部下の手柄話を嬉しそうにする顔に、今もその面影が残る。

陽気で豪気、人間味あふれるこのやんちゃぼうずは、伝統にあぐらをかき、業績が伸び悩んでいた五万人の集団を見事に活性化させた。経営評論家、内橋克人氏は『匠の時代』で、進藤社長についてこう述べている。「人間の集団においては結局、リーダーの資質がすべてを決める。トップが変われば全体も変わる」けれど、至言である。(堯)

母校のクラブ活動の状況を特活部の協力を得て全調査しました。昔と今ではクラブの数、部員数、内容ともに変わっているかもしれませんが、あなたの所属していたクラブは今どんな具合ですか?

クラブ活動の現状全調査

運動部22、文化部18の合計40のクラブと5つの同好会がある(左表参照)。空手は近頃の女性上位(?)を反映してか唯一人の

女子部員が四国、全国大会、国体と出場して大活躍しているのに対して、男子は今不振。

が中・高合わせて78人という大世帯。これに弓道の45人が続いている。

文化部では伝統の新聞部が部員わずか2人で活動停止中。生物部ではサーモスタットの故障で、あわれ大量の「メダカ汁」がで上がったという。

野球部ベスト8へ
春の選抜の県予選を兼ねた秋季大会で、部員10人の野球部はベスト8まで残り、準々決勝で、四国大会で準優勝した明德義塾に3対1で敗れた。試合は終盤まで一点を争う展開で、夏への期待をつないだ。



仮装行列は「ピーター・パン」

土佐高では、高二、高三は同じクラスでもちあがることになっている。この写真集は、その二年間を共に過ごした61回生Hホーム55名の、群青のとき、青春の記録である。

遠足、クラスマッチ、運動会、向陽祭、定期テスト、共通一次、そして日々の教室風景、生徒たち自身の手で撮影、焼付、編集したものである。

なお、これはHホームの卒業記念アルバムづくりとしてスタートしたものだが、限定一九五冊を希望者に頒布することにした。

頒価 一〇〇〇円

発行 四国写植出版制作室（高知市朝倉戊1180ノ4 電話 〇888 44-6022）

『群青のとき』

—我らカットビ青春記— 出版

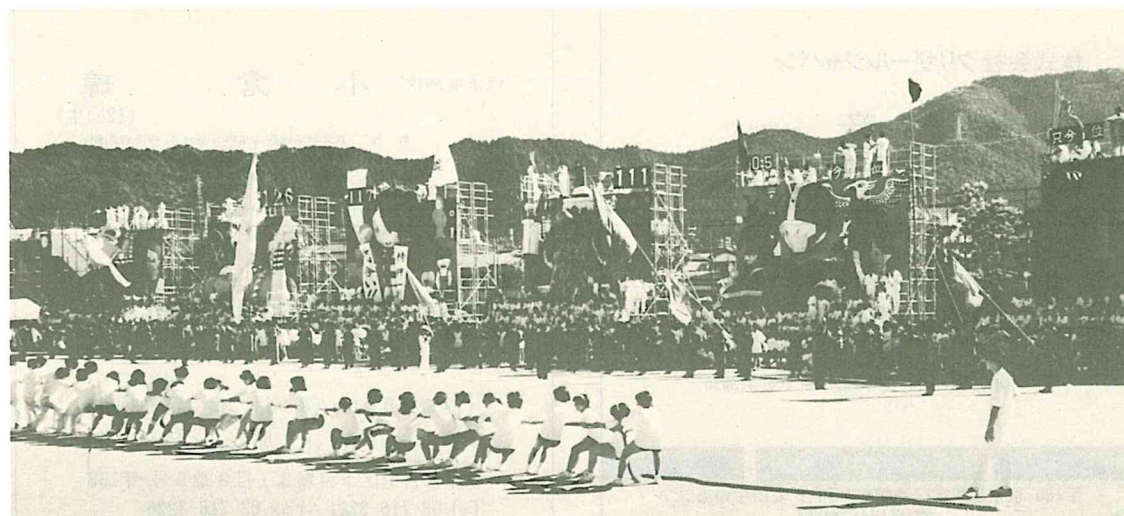
土佐高61回生Hホーム

景。それらを通じて彼らの生き生きとした、まさに青春全開の姿が見る者に迫ってきて、想い出の中の自分の姿と二重写しになる。

この写真集は、表紙写真のみ担任の西森茂夫先生の今年の視点展全国公募で入選した作品を使用、それ以外は全て生徒たち自身の手で撮

楽しい行事あれこれ

—母校からの便り—



運動会

九月二十三日(火) 秋分の日。新グラウンドで開催。例年通り高3はヤグラ作りとホームゲームが行事の中心。今年は雨にたられ、ヤグラ作業は随分と遅れたが、「突貫作業」でみごとに完成。

近年立体化が進み、かなりの力作ぞろい。建築用鉄資材で組立てたヤグラは近代的感覚とダイナミックな盛り上がりが見え、物理的時間の制約など受験に与える影響が云々される昨今だが、運動会にはやはりこれがなければ。



修学旅行

九月三十日(土) 十月六日(六泊七日) 中学での旅行がなくなつて、中高六年間で一回、高一実施となつて十数年。今年は長年続いた関東方面から久々に九州への旅行となった。

別府温泉—阿蘇—熊本城—長崎—霧島—宮崎。

長崎では原爆の惨状を告げる展示資料を見つめて戦争への怒りと平和の大切さを再認識。

最終日の夜はバスガイドさんをも招待してホテルで立食パーティー。カラオケ大会で盛り上がる。少々遅れて現われたガイドさん達を女生徒と間違えた某先生「遅刻の上に化粧までしてきて、おまんらあ何なら？」あとで平身低頭的一幕も。

宿舎がデラックスになって、昔のように大部屋で入り乱れての枕投げといった光景は殆ど姿を消したが、寝食を共にすることで生徒たちは友情を大いに強め合った。

引率者は三枝教頭を団長に、



平岡、久保田先生ら12名。

遠足

十月二日(木) 中学一年全五クラス総勢二七四名。バス五台で仁淀川河原加田へ。河原の石を集めて作ったカマドで、パーベキュー、鉄板焼、お好み焼、カレーライスなどに歓声をあげる。

三十分で早くも串ぎしの肉を口に放り込んでいるグループもあれば、一時間過ぎてても火をおこせないで半ベソの女生徒たちも。一人二〇〇〜四〇〇gの肉を腹に詰め込んで満腹満足。全員で後片づけのあと帰路につく。

出版レーダー

▽進藤 貞和氏 (三回)

『私の履歴書』日経新聞社・定価 一四〇〇円

▽倉橋由美子氏 (二九回)

『アマンノ国往還記』新潮社・定価 一九〇〇円

▽島田 裕之氏 (三三回)

『英会話革命』島田英会話研究所・定価 三〇〇円

『英会話スピード・スピーキング・トレーニング』

日時 昭和62年1月24日 1時 場所 〓サンケイホール 会費 〓2000円
問合せ 〓東京都豊島区南長崎1-14-8 第2椎名町マイコーポ203号 島田英会話研究所 電話 〓952-4668

●出版情報

『南風対談』

『続南風対談』

『続々南風対談』

山田 一郎著

「高知新聞」に連載された山田一郎氏と高知県出身者との対談集。平井康三郎(五回)、公文公(七回)(南風)、進藤貞和(三回)(続)、近藤久寿治(六回)、大原健士郎(二四回)(続々)の各氏が登場。発行 〓高知新聞社 定価 一五〇〇円、一五〇〇円、一八〇〇円

●第11回筆山会ゴルフコンペ

11月9日四街道C・Cで行われ、北岡支部長がグロス85(38・47)の好スコアで優勝した。次回は62年5月23日(土)の予定。

’87新年総会は1月31日(土)デス!

来年の新年総会は一月三十一日(土)、霞が関ビル33階の「東海大学校友会館」で開催されます。午後三時総会、三菱電機名誉会長・進藤貞和氏(三回)の講演を予定しています。ひき続き七時まで懇親会。素晴らしい夜景を眺望しながらリッチな気分でお交を暖めあってください。

旅行のことなら海外・国内を問わず
なんでもご相談下さい

運輸大臣登録一般旅行業第142号

株式会社 **スペース**

取締役社長 竹内 一郎 (36回生)

〒102 東京都千代田区九段北4-1-32
TEL・(03)263-7661(代表)

CHRYSA

株式会社クリザールジャパン

代表取締役

西尾義彦 (33回生)

東京都渋谷区神宮前6-12-20 東洋ビル7F 〒150
 テレフォン03-797-5090 ファックス03-797-5098

住宅・アパート・マンション・建売住宅・分譲地
 お気軽にお電話下さい。

片岡勇征 (34回生) 東京営業部長

積水ハウス株式会社

〒160 東京都新宿区西新宿1-10-1 安田生命第2ビル
 ☎03(342)6932

メガネ、コンタクト、補聴器のことなら
 何でもご相談下さい。
 世界一のメガネ店と松下幸之助氏激賞！

全国37店舗 **富士メガネ** 大手町店

取締役店長 窪田秀忠 (38回生)

千代田区大手町1-6-1 大手町ビル
 TEL 03-214-4751 日曜日(休み)

衆議院議員 田村良平

秘書 田村公平 (40回生)

〒100 東京都千代田区永田町2-2-1
 衆議院第一議員会館530号室
 電話 03-581-5111 内線 5530・6530
 03-508-7260(直通)

六本木司法書士合同事務所

司法書士 横原温幸 (41回生)

司法書士 鶴和千秋 (41回生)

〒106 東京都港区西麻布1-8-20 エメロード
 西麻布3F 電話(470)1055 FAX(470)1425

Management & Systems Consultants

株式会社 システムズ プランニング

代表取締役 小倉 璋 (32回生)

本社 東京都新宿区本塩町4番地4 様子館別館
 〒160 電話 03(351)0351
 大阪 大阪市淀川区西中島3丁目18番21号 南極ビル3F
 〒532 電話 06(306)5636

日章造園株式会社

代表取締役社長 澤村良節 (33回生)
 専務 千原望 (33回生)

東京都目黒区下目黒3丁目8番5号 〒153
 Tel.03-716-3221 / Fax.03-716-3226

エレクトロニクス革命の最前線で、
 夢を現実に変えてゆく。
 カシオは第三の波の頂点に立つ。

CASIO

取締役楽器推進本部長 羽方将之 (38回生)
 兼 研究部長

セキシステムサプライ株式会社
 〒157 東京都世田谷区粕谷1-17-17 ☎03-329-5421
 株式会社 セキ 大阪本社
 〒567 大阪府摂津市島利2-1-1 ☎0726-54-3733
 株式会社 セキ 東京支店
 〒227 横浜市中区長津田町5752 ☎045-921-9121

取締役社長 関 雅 夫 (39回生)

弁護士

田村公一 (41回生)

〒107 東京都港区南青山2丁目11番14号
 イチズビル五階
 南青山総合法律事務所
 03-403-5708

座談会

志願者調査対策委員会委員長 (27回)

籠尾良雄先生を囲んで

調査対策委設置の経緯
 浅井 最近、母校は文武両面で低迷気味で、また優秀な生徒が県外へ流失するという動きも出ています。今春、母校に「志願者調査対策委員会」が設置され、籠尾先生が委員長になられたという事は「筆山」2号で既報のとおりです。

関東支部でも、母校に役立つ情報を提供しお役に立つとと松浦校長にご案内したところ大変喜んでいただき、本日の会になったわけです。

籠尾 調査対策委員会の設置の経緯や狙い等についてご説明したいと思います。私が何とかしなければと痛切に感じたのは昭和59年です。58年に東大合格者数で6対6と初めて学芸に並ばれ、59年は東大でこそ6対4と辛じて勝っていたが、国公立合格者数では160対240と完敗していたのを教職員があまり知らなかったのです。

そこで、土佐と学芸の過去の実績を調べてみると、国公立合格者数は、昭和50-54年の前半5年間は、50年以外は勝っている。ところが、55-59年の後半5年間では、勝ったのは一回だけ。県体兼インターハイの予選の優勝種目数でも、前半5年は19対5で勝っているが、後半5年は10対13で負けています。因みに、土佐は、スポーツがよい年は進学もよいようです。

学芸が「うちは習熟度別クラス編成を導入し、国公立ではすでに土佐に勝っているの、61年には東大でも逆転して完勝する」と宣伝していると聞いて、59年10月の職員会でそのデータを発表し、警鐘を鳴らしたわけです。もう一つ、59年には24名の中学受験生が県外に流失したと高知新聞に報道されました。不幸にして二年後の今年、東大では10対9と逆転され、また中学受験生は58名も県外流出

し、土佐中に受かりながらラ・サールや愛光へ行った生徒が21名もいるのです。こういう状況で本年4月7日に調査対策委員会の設置を提案、圧倒的多数で可決され、10月末に校長に答申をする予定です。

浅井 土佐は習熟度別クラス編成ではないのですか。

籠尾 私立校においては、習熟度別クラス編成が主流です。しかし、土佐はそういう特別なクラス編成は一切していません。ただ、国立文系・理系、私立文系・理系という分け方はやっていますが。一方、学芸はα組、β組という国立文系・理系受験用の男子だけの特別クラスを作っています。追手前もそうです。文部省の調査では、全国の公立高の60%が習熟度別学習を導入

しているとか。私は習熟度別クラスをバシッと作るというのはいやな気がします。しかし、英語・数学に関しては習熟度別学習を取り入れたいという気がします。

理想は徹底した個別教育
 浅井 沢田さんの学校では？
 沢田 国立文系・理系、私立文系・理系という分け方です。われわれの頃の土佐高は四クラスで、二つが上位陣が多いほう、二つが少ないほうと分かれていたよう

出席者

武市 橋夫 (18回・中央大学)
 門脇 稔 (25回・神奈川歯科大学)
 岩谷 清水 (27回・公文教育研究会)
 沢田 良夫 (30回・攻玉社高校)
 中城 正堯 (30回・くもん出版)
 小島 善子 (31回・公文教室)
 谷 敦雄 (34回・都立千歳高校)
 宇田 理夫 (36回・教育新聞社)
 土居 正 (44回・文部省)
 (司会) 浅井 伴泰 (30回・関東支部幹事長)

三菱電機株式会社

代表取締役
名誉会長

進藤 貞和

(3 回生)

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号



公文教育研究会

会長 公文 とおる 公
(7 回生)

大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532
公文教育会館
電話 06-304-7611(代)
東京都千代田区五番町3番1号 〒102
五番町グランドビル
電話 03-234-4651(代)

圧縮空気除湿装置
吸着精製装置

AUTO-PUREX

丸谷化工機株式会社

代表取締役社長 山本 高敬 (25回生)

〒100 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル



公文教育研究会

取締役
教育主幹

岩谷 清水

(27回生)

東京都千代田区五番町3番1号 〒102
五番町グランドビル
電話 03-234-4651(代)
大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532
公文教育会館
電話 06-304-7611(代)

ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社

代表取締役社長 秦 郷次郎

(31 回生)

〒107 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル
電話 (478) 3694 番

同学社版・新修ドイツ語辞典刊行

株式会社 同 学 社

取締役 近藤 久寿治
社長

(6 回生)

東京都文京区水道1-10-7
電話(03)816-7011 (〒112)

浄水場・下水処理場各種機械設備設計・施工

月島機械株式会社

専務取締役 吉澤 信一

(16回生)

〒104 東京都中央区佃2-17-15
TEL 03-533-4111

税金・相続・利殖の総合コンサルタント

株式会社 明治生命保険代理社

業務推進部長 中田 庸穂

(28回生)

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町2-3
(川島ビル7F) TEL 03-663-4231

代表取締役
社長

梶 田 広 人

(30回生)

エロフ ハンソン 株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目21番19号
秀和第2ビル302号
電話 (03) 503-6161(代表)
テレックス 2424404 EHJPN J
ファクシミリ (03) 503-6060

リクルート人材センター

専務取締役 溝 渕 真 清 (32回生)

労働大臣許可13コサツモ0001号
東京都港区西新橋1-10-2
リクルート西新橋ビル 〒105
電話 03(508)9141(代表)
大阪/電話 06(304)2811
名古屋/電話 052(562)3751
横浜/電話 045(316)1311

ですが、よくないほうのクラスが荒れてきて、担任がお気の毒でしたね。

籠尾 学芸や追手前の話を聞いても、生活クラスをそのまま分けるとマイナス面も多いようです。昨日、海城高で尋ねたら、「人間教育に力を入れているので、そういうクラス編成はしていない」とのことでした。

岩谷 習熟度別クラス編成というよく聞こえるけれど、実はあれは先生の授業のやりやすさのためなんです。生徒を伸ばす指導の先生がどれほどいるかということが鍵であって、習熟度別はそれほど大きな決め手にはならないんじゃないかと私は思っています。

小島 私もそう思います。土佐中に入ってくる時点で選別はできているんじゃないか。だから、要は、いかに生徒の力を引きだす指導ができるかという先生方の力とやる気ではないでしょうか。

中城 先程の海城高は習熟度別を導入した時期もあったが、現在はしていません。していないとあれだけの成績を支えているのは何かと言うと、一つは生徒の偏差値が高く学力差が少ないということ、もう一つは徹底した個人指導です。各生徒の家庭環境から小学段階の得意科目、朝食はちゃんと食べているか、といったデータが完備していて、担任・教科主任・学年主任・校長がそれを見ながら指導する体制ができています。

岩谷 それに、先生方が互いに切磋琢磨している。

浅井 公立高の60%が習熟度別学習を導入しているそうですが、谷さんの高校は？

谷 うちは数学だけやっていきます。本来の三クラスを四クラスに分け、正規だと48名のクラスを36名にして授業をしています。ただ、数学や英語だけでなく、体育や芸術など力の差の出るものについて幅広くやるので

なければ、私個人は習熟度別学習に賛成ではありません。理想は個別教育を徹底すること、これは予算の関係で公立では無理ですが、土佐のような私学では可能ではないでしょうか。それを支えるのは教員集団のあり方だと思っています。

土居 問題のある学校を立て直す事例を見た経験がありますが、先生方が協力して立ちあげた場合には、大抵うまくいってました。

習熟度別クラス編成については、生活クラスは固定的に共通のものにし、特定の教科だけ習熟度別にするのであれば、問題はないし効果も大きいと思います。また、スポーツがいい時は進学もよかったとのことですが、勉強で吸収させる面と、スポーツや運動会のやぐら、文化祭など創造したり発散させる面の両面がないと学校生活は生き生きしないわけで、ご配慮をお願いしたい。

門脇 子どもの成績が下がる、親はクラブが忙しいから下がったととるんですね。ところが、そうではない。だいたいクラブが乗りきれないで勉強が乗りきれますか。土佐高は知育だけでなく、クラブと両方やらなくてはならない。両方。

校長先生は塾回りを

宇田 土佐高の現状というのがだいぶわかってきました。が、停滞の原因というのが先生方に根ざした部分があります。ここはぜひ松浦校長先生に強力なリーダーシップを発揮していただかないと。

門脇 そのとおり。今、土佐高が緊急にしなければならぬことは、校長先生が率先して小学校や塾を回りよい生徒を集めることですね。これをやると先生方もついてくる。校長は本気だと。

武市 今は大学でも「よい生徒をうちによろしく」と予備校を回る時代です。

沢田 東京の私立中・高の場合、だいたい教頭が専任で予備校を担当しています。門脇 それと、先生方の待遇をよくし、よい先生を集めることです。土佐高は昔から先生方が自宅で一部の生徒を教えています。それは教師不信を招く。

武市 先生方を他校で研修させるのもいいですね。もう一つ、中学のクラス定員55名は無茶だ。減らさないと。

中城 学校を活性化させる一手段として「土佐高は個性ある生徒を歓迎します」という方針を打ち出して、スポーツや文化活動全般にわたり、たとえば中学時代に県レベルの会で一定の成績をおさめた者は、ペーパーテストの成績にプラスαするとか、推薦入学にするとかということをきちんと決めて公表してはどうか。

浅井 そろそろ時間です。本日のお話を参考に立派な答申が出ることを期待します。長時間有難うございました。

(9月23日 京橋会館にて)

関東支部草創のころ

近藤 久寿治（6回）



同窓会嫌い？の三根校長

初代校長三根円次郎先生は同窓会が嫌いで、つくらせないのだからという噂があった。草創期の頃、一学年の生徒数をかりに二五名として、一〇回生までが学校を出てみた処で、たかだか二五〇名、それが全国に散らばれば、まさに暁天の星で、会も何もあつたものではないというのが実情であつたらう。それでも、校長が関西、東京と移動すれば土地々々の教え子が集まってくる。台風の影響のように、中心の校長が赴く処人々は集まり同窓会は成立する。しゃちこぼった同窓会などご無用というのはこちらあたりから出たのでは。

東京にご家庭のあられた校長は度々上京される。その度にどこから連絡があつて、よく本郷三丁目近くの燕楽軒という店に校長中心に集まつた。教え子たちも母校を離れて数年たつてみるとそれ程怖くもなくなつて、それぞれが身辺の報告をした。「私は本郷の裏で安酒を飲んで流行歌を唄っています」と当時のデカダンの気持

の儘を申し上げると「内の長男もそれをやっている」と云われたが、それが後のディック・ミネであつたことはどこかに書いた。先生のお顔が和やかだったので私は安堵した。戦争へとねじ向けられ始めた時代の閉塞を感じとられていたかどうかは判らない。それからすぐに先生は亡くなられた。「土佐中学の終焉」と悲しんだ同窓もいた。

初代支部長は鉄道省ホープ

東京支部がいつ出来たか覚えてない。本部が出来たから支部も出来たらう。初代支部長は片岡義信氏（一）。鉄道省のホープ的存在で、どつしりと落着いたなかなかの人物で俳句をよくし、よく後輩の面倒を見た。彼を頼つて鉄道にはいつた同窓生は相当にある筈だ。第二次大戦の頃は新橋運輸事務所長として首都の交通を統括指揮して如何なる空襲にあつても運行を止めなかった。毎朝早く空を仰いで、天気、空襲を予測しては各主要線路の車輛の数を決定したとは直接伺つた。自己に厳しく、将来総裁

にもなる人物と囑望されながら、国鉄理事で逝去された。

二代目校長排撃の火の手

戦時下の同窓会としては晴天のへきれき、地元の高知から二代目校長青木勘先生排撃の火の手が揚がつた。古くからの国語担当樋口一治先生が先頭で、同窓では当時旧制高知高校に多く在籍した一六回生が中心のようであつた。先生からは一週間おきに巻紙に墨黒々と毛筆で書かれた長文の手紙が届き、一六回生の中から吉沢信一君、曾和純一君などわざわざ上京して運動に立ち上つてくれといふのである。実情を知らぬこちらでは何とも応じられない。「とにかく君

東京で作った三根校長のレリーフ

青木校長の問題が起きたとき、東京では先ず三根精神の復興が先決である、そのためには先生の伝記の編纂と先生の胸像レリーフを作ろうという声があつて、東京支部が中心になつて二つの事業を進めた。胸像は郷土出身の本山白雲先生に製作を依頼し、製作中も同窓がわかるがわるアトリエを訪ねては「もう少しほ骨が出ていた」など注文をつけたりして、出来上つた時は大よろこびで、学会館で未亡人を迎えて祝いの会を開き、母校での除幕式には東京から未亡人とご次男、それに近藤が参列した。

たちは勉強して東大にはいれ、そして東京支部の中核になれ」と校長排撃よりもその方を激励した。翌年か、彼らは大挙して東大に入學して来たのである。樋口先生は昭和十八年ご逝去。其後青木校長は二年も頑張つて退いている。灰燼に帰した母校を建て直し、土佐中学復興の父と云われた大嶋光次三代目校長は屢々上京して東京での会合が盛んに行われたことも記憶に新しい。東京支部は二代目支部長に佐藤秀樹氏（一）、三代目岡村一氏（三）と、多くの功績を残されて逝去した。

戦争の時代へ

曾和純一（一六回）

近藤先輩らの激励によつてか、一六回生が大挙東京に進學してきて、春日町の角にあつた料亭「大國」で盛大な歓迎を受けた翌日には、ドーリットル中佐の初空襲で宿酔を吹きとばされた。戦争のかけは次第に濃く、支部の集りも本郷三丁目の藪そばあたりで小じんまりと開かれることが多かつたが、それも永くは続かなかつた。一八年の暮には学徒出陣で学生たちの多くが学窓を去り、そのうち支部活動の拠点であつた近藤先輩まで応召され、同窓会活動は事実上休眠状態に追い込まれた。

同窓会の再出発

島内 淳（一六回）

終戦直後、近藤さんは練馬区東大泉の旧将校住宅に住んでおられて、同窓会を発足させたばかりであつた。そこへ復員してきた島内淳、宮地貫一などがごろりこんで厄介になつてた。同窓の方も次々にたずねてこられて、ここを中心に、戦後の同窓会がスタートした。

本やノートを買う金をひねり出すのに、たまに配給のビール一本を手離さなくてはならなかつた、「てんやわんや時代」と呼ばれた戦後のひところ、旧制土佐中の東京同窓会は、一年交替の学生幹事が東大泉に住む近藤久寿治さんと相談しながら運営していた。その始めの方が私、それから光森正、宮地貫一、北村正志と続いた。

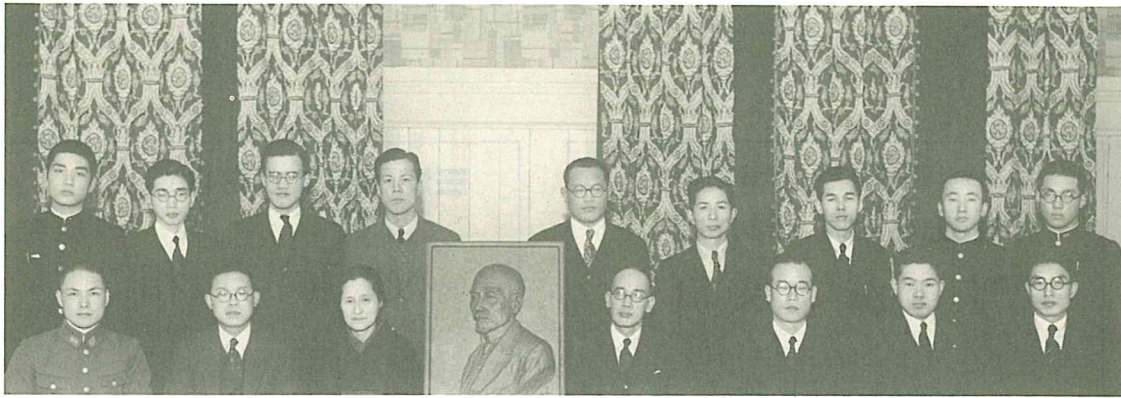
そうした貧乏学生が、時には「豪遊」といふ思いでアメや横丁から、世間ではもう一個十円にもなつていた「高価な」まんじゅうを七円で、落花生、センベイの類いをそれなみの格安値段で仕入れて来て頬ばつたのが、そもそのまんじゅう会の起りである。場所は結婚したての私のスイート・ホーム、と言つても床がミシミシと音をたてる広さ十畳あるかないかの間借り板の間である。ここで政治から恋愛までいろいろと討論が行な

まんじゅう会の由来

伴 正一（一七回）

ツを頂く方が、とうから成人している我々にとつてだけ有難いことか。

その後近藤さんは東大泉を去つたが、この時代の書生連が集るときは誰言うもなくまんじゅう会と呼ぶしきりになつてしまつた。北村のあと岡崎昌生以下数名が加わる。近藤さんを別格に、私より先輩には島内淳、曾和純一の両兄がいる。



写真は学生会館で三根先生のレリーフを囲んで、前列右から宮地豊彦(5)、細木志雄(2)、片岡義信(1)、三根家の方、未亡人、都築宏明(3)、伊井義正(8)、後列右から町田守正(16)、畠中達夫(14)、長崎治道(7)、近藤久寿治(6)、島田純一郎(12)、引田嘉男(9)、曾和道雄(9)、失名、久保田勲(14)。(前列の未亡人、同窓はすべて故人、後列は曾和道雄君を除いて皆健在である。)(近藤記)